

**TYPE OF  
INDUSTRY**

2011年11月に  
通のメールを受け取つ  
た。「Voicet」  
a(ボイストラ)を使  
つてみたら日本語の音  
声認識性能が素晴らしい  
かった。翻訳しないモ  
ードを作つていただき

情報通信研究機構  
**NICT**  
先端研究

89

たい。  
。

が頭から離れず何度も話せる人のための技 うになつた。

その結果、手話がで

今の音楽知識

私の所属部署では30年以上に渡って音声翻訳の研究をしており、その研究成果をVocetraという音声翻訳アプリとして一般に公開している。正直なところ翻訳しない干警はあり得ないので、いつたんはお断りしたが、このメールのこと

読み返していた。  
メールの続きをには  
うあつた。「それが  
きると聴覚障害者と  
聴者のコミニケー  
ヨンに役立つのです。  
メールの主は熊本県  
熊本聾学校の山田原  
先生。恥ずかしながら私は  
それまで、音声認識

術、童声合成は闇でいる人のための技術で、い込んでおり聴覚健者の役に立つといえども、シシ想は全くなかつた。しかし、このメールにつかげに、音声認子聞こえない人の耳わり、童声合成はない人の声の代わりとなる技術と考える。

まずは、山田先生のご提案を実現して熊本で発表しました。この発表は、聴覚障害者のためのコミュニケーションツールとして、多くの意見が寄せられました。そこで、この意見をもとに、より実用的なツールを開発するための研究が進められています。

きない相手との「」  
本  
ケーションする」  
可能であったが、  
んせん時間がかかる  
しまう。さすがに  
翻訳アプリを少し  
しただけでは全く  
分であることが、  
り、専用アプリの  
に着手した。山田

「二 かげで「えいひ」とは  
いつ専用アプリを開  
いた。すると、このア  
プリは聴覚  
音声 告者が持ち歩く  
改造 想定して開発したが  
不十 意外な声が聞こえて  
わか た。このアプリの利  
開発 者は身近に聴覚障害  
先生 がいる健聴者だった

とボーリド入力の代わりに発見はなるが、駅や車内のアナウンスを正しく認識することは難しい。聴覚障害者は、耳の代わりになる技術を待ち望んでいる。微力ながらこの期待に応えていきたい。(火曜日に掲載)

## 音声認識、耳の代わりに

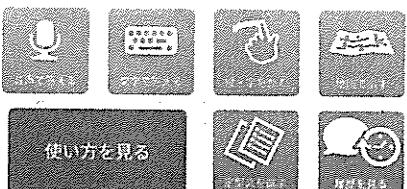
先進的音声翻訳研究開発推進センター・統合システム開発室室長

革荀



私は耳が聞こえないので、これを使ってお話しします。ちょっとよろしいでしょうか。

どねかの書名と略してよくおさへ



聴覚障害者と健聴者のコミュニケーションに役立つ専用アプリ  
「えとら」